

令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 江川 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和元年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

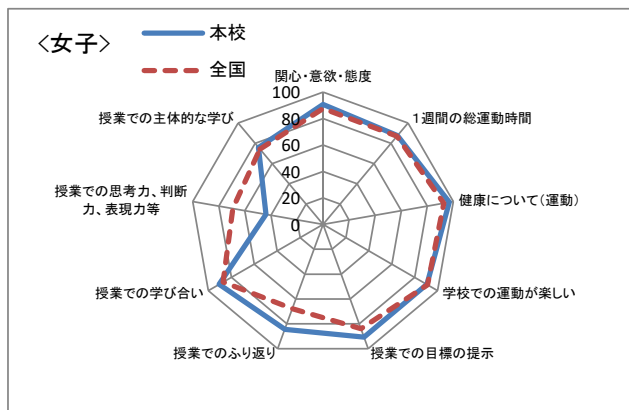
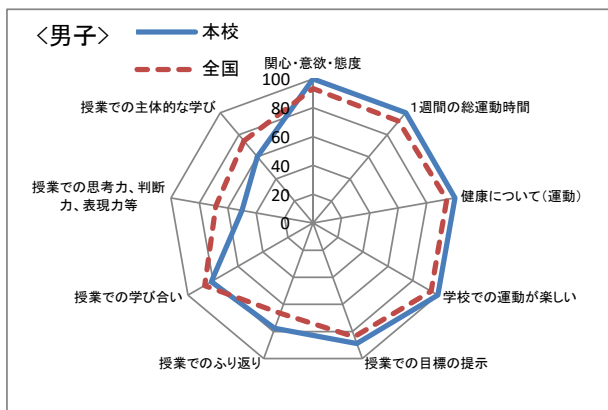
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.37	19.80	33.24	41.74	50.32	9.42	151.45	21.61	53.61
本市	16.56	20.49	33.51	42.17	52.49	9.39	153.34	22.91	54.52
本校全国平均以上の種目				○	○		○		○

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.09	18.95	37.62	40.14	40.79	9.64	145.68	13.61	55.59
本市	16.49	19.55	38.14	40.49	42.02	9.64	147.47	13.79	56.34
本校全国平均以上の種目	○	○	○	○	○	○		○	○

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

本校児童は、男女ともに運動に対する関心や意欲が高く、休み時間も進んで運動に親しむなど、運動好きな児童が多い。その結果、運動能力へと結びついていると考えられる。特に女子は、ほぼすべての種目で全国平均を上回っている。課題として、自分に合った練習や場を選んだり、本時を振り返ったりする等の授業をよりよくするための活動が全国平均を下回った。今後は、体育科学習における友達同士の学び合いを充実させ、児童が主体的に学習に取り組んでいけるよう、指導法の工夫・改善を行っていく。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

体育科の学習において、児童の主体的・協同的な学びとなるよう、児童に学習のめあてを意識させるとともに、必ず「見合い」「教え合い」の場を設定し、児童同士の交流を促すようにする。また、しっかりと教材研究をして指導法の工夫・改善を図っていく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本校児童の体力的課題の解決や、運動習慣の確立に向け、児童会主体の集会活動及び運動週間を年に複数回実施する。さらに、家庭にも児童の個々の体力の実態を知らせ、体力及び健康への関心を高めるようにする。また、休み時間の外遊びの奨励を一層図るとともに、本校の特色であるアスレチック施設「平和ヶ丘」の授業、休み時間での積極的な利用を図る。